

栃木県総合教育センターだより

学びの杜通信

第84号 令和4(2022)年11月25日発行



栃木県教育研究発表大会の申込み案内

令和5(2023)年1月27日(金)、28日(土)に、令和4(2022)年度栃木県教育研究発表大会を開催します。県内各教育機関における学校教育及び生涯学習に関する研究の成果等を15の部会で発表します。今年度もオンライン開催(Web会議ソフト「Zoom」配信)となります。今大会は各部会に加えて総合教育センター設立30周年記念講演も行います(下記参照)。ぜひお申込みください。

【日程及び発表部会】

1月27日(金)	1月28日(土)
1部 9時50分～11時30分 ○ とちぎふるさと学習部会 ○ 生涯学習部会 ○ 子どもの安全・安心部会	1部 9時50分～11時30分 ○ 総合教育センター設立30周年記念講演 演題 「教育は人を幸せにするためのもの」 講師 浅田 和伸 氏(前国立教育政策研究所長)
2部 12時30分～14時10分 ○ 人権教育部会 ○ 学力向上部会 ○ 情報教育部会	2部 12時30分～14時10分 ○ 校内研修部会 ○ 幼小連携部会 ○ 外国語部会(小・中・高)
3部 14時50分～16時30分 ○ 児童・生徒指導部会 ○ 道徳教育部会 ○ 総合的な学習・探究部会	3部 14時50分～16時30分 ○ 特別支援教育部会 ○ 教科指導充実部会(小・中) ※16:45終了予定 ○ 教科指導充実部会(高) ※16:45終了予定

※ 各部会の詳細については、以下のWebサイトから御確認ください。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/kensyu/r04-kenkyu/>



参加申込方法

- ① 「栃木県総合教育センター」のWebサイトにアクセス
- ② 「令和4(2022)年栃木県教育研究発表大会」のバナーをクリック
- ③  **オンラインによる参加申込はこちら** をクリック
- ④ 入力フォームに必要事項を入力し、参加希望の部会を選択
 - ※ 申込みの際にメールアドレスを入力してください。
 - ※ 確認メールが自動返信されます。大会が近付きましたら参加に必要な情報をメールにてお知らせします。
- ⑤ お申込みは、令和5(2023)年1月20日(金)まで
 - ※ PCやネットワーク等の環境は、各自で御用意ください。

【問合せ先】 栃木県教育研究発表大会実行委員会事務局

(研究調査部 Tel 028-665-7204)

令和4(2022)年度 栃木県教育研究発表大会

2023年1月27日(金)・28日(土) オンライン (Zoom配信)開催

会場 栃木県総合教育センター

伸ばそうちぎの教育力

すべては明日を担うとちぎの子どもたちのために

記念講演 1月28日(土) 9時50分～11時30分
 演題 教育は人を幸せにするためのもの～何を守り、何を認めるか～
 講師 浅田 和伸 氏(前国立教育政策研究所長)

1/27 金	9時50分～11時30分 とちぎふるさと学習部会 生涯学習部会 子どもの安全・安心部会	12時30分～14時10分 人権教育部会 学力向上部会 情報教育部会	14時50分～16時30分 児童・生徒指導部会 道徳教育部会 総合的な学習・探究部会
1/28 土	9時50分～11時30分 総合教育センター設立30周年記念講演 演題 「教育は人を幸せにするためのもの」 講師 浅田 和伸 氏(前国立教育政策研究所長)	12時30分～14時10分 校内研修部会 幼小連携部会 外国語部会(小・中・高)	14時50分～16時30分 特別支援教育部会 教科指導充実部会(小・中) ※16:45終了予定 教科指導充実部会(高) ※16:45終了予定

お問い合わせ先 栃木県教育研究発表大会実行委員会事務局(栃木県総合教育センター) 研究調査部
 TEL 028-665-7204 FAX 028-665-7303 E-mail: happy@tochigi-edu.ed.jp

主催 栃木県教育委員会・栃木県教育研究所運営協議会・宇都宮大学共同教育学部・宇都宮大学教育センター
 後援 栃木県小学校長会・栃木県中学校長会・栃木県高等学校長会

栃木県児童生徒発明工夫展覧会の参加御礼

今年度は、小学校から19作品、中学校から4作品、高等学校から9作品、少年少女発明クラブから51作品、合計83作品の応募がありました。10月19日に栃木県産業技術センターで行われた審査の結果、金賞10作品、銀賞15作品、銅賞20作品が決定されました。また、10月21日～23日に開催された展覧会には、延べ400人を超える来場者がありました。

昨年に引き続き、今年も夏休み中の新型コロナウイルス感染拡大が工作教室の実施に影響したため、応募作品数はやや少なめでした。今年度の作品は、新型コロナウイルス感染防止策を考えたものや、日常生活における気付きを作品として具体化したものなど様々なアイデアや工夫が見られました。日常をよりよくしていこうと考え、知識と経験を生かして、試行錯誤しながら作品をつくることは、「学びを人生や社会に生かそうとする力」につながるものです。来年度も、楽しさや驚きのある作品の応募をお待ちしています。

なお、金賞を受賞した作品は、「第81回全日本学生児童発明くふう展」に出品されます。また、金賞受賞作品の概要を、当センターのWebサイトにて11月下旬に紹介する予定です。

金賞受賞作品



金賞受賞作品
「足踏みガチャスタンド」



金賞受賞作品
「ぐるぐる回せ！」

日本学生科学賞栃木県大会の参加御礼

今年度は、中学の部に10作品、高校の部に12作品の応募がありました。9月22日に栃木県総合教育センターで開催された審査委員会において、中・高合わせて、最優秀賞6作品、優秀賞13作品、優良賞3作品が決定しました。最優秀賞に選ばれた6作品は、今後、中央審査に出展されます。



【中学の部 最優秀賞・栃木県知事賞】

今年度の作品は、身近な疑問から研究を始めたもの、日頃の授業の学びから疑問を見いだして研究を始めたもの、部活動で長年取り組んできた研究をさらに深化させたものなど、内容は多岐にわたっていました。また、研究の進め方に関しても探究のプロセスを踏むと共に、実験方法や解析方法を新たに作り出すなど、様々な工夫が見られました。本大会で出品作品に期待していることは、学校の授業や身近な現象の中に隠れている謎や疑問について、科学的手法を用いて解明する探究の過程を踏まえていることです。来年度も、物理・化学・生物・地学・広領域のそれぞれにおいて、「科学を楽しむ気持ち」が伝わってくるような作品が、多数応募されることをお待ちしております。



【高校の部 最優秀賞
・栃木県知事賞】

※ 日本学生科学賞栃木県大会の審査結果はこちらをご覧ください。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/tenrankai/menu.htm>



【問合せ先】 研究調査部 (TEL 028-665-7204)